

まちのわだい

日光地区の賑わいづくりに期待

スーパーパーランテア協定式

日光地区9集落で組織する日光地区協議会は、7月22日、日光小学校横の白水川河川敷と河川公園を管理・活用するスーパーパーランテアの協定を鳥取県・伯耆町と結びました。

スーパーパーランテアとは、県が管理する河川や道路などを活用し、地域づくりや賑わい創出を目的として維持管理活動を行う団体のことです。

日光公民館で開催された締結式には、日光地区協議会の木村修司会長と西部総合事務所の林昭男所長、森安町長が出席し協定書に署名。木村会長は「河川公園を充実させ、住民や地区出身者が誇りを持てる地区にしたい」と話しました。

協議会ではこ

れまで、河川敷と河川公園の維持管理と地域住民の交流を図るため、大山日光清流まつりなどを行ってきました。この協定により、河川公園内にベンチを設置する場合がありますが、受け入れられるようになりまし



協定書を交わした(左から)林所長、木村会長、森安町長

杣水高原に新名所

恋人の聖地モニュメント



モニュメントに腰掛け、記念撮影を行うカップル

恋人の聖地モニュメントの除幕式が、7月23日、杣水高原天空リフト展望台で開かれ、関係者と2組のカップルが参加しました。

杣水高原は、弓ヶ浜半島や日本海を見下ろす景色や高原ならではの解放感、紅葉の美しさなどが評価され、プロポーズにふさわしい場所として2010年6月に「恋人の聖地」に選定されました。

この日披露されたモニュメントは、受賞式で贈られた盾を埋め込んだハート型で、腰をおろすと、絶景を背景に写真を撮ることが出来ます。

天空リフトで2人きりの時間を楽しんだ後、ここに腰掛け写真を撮ってみませんか？

夜空に舞う2,000発の花火

きしもと豊年盆踊り花火大会



夜空を彩る花火

毎年恒例のきしもと豊年盆踊り花火大会が、8月15日、岸本中学校グラウンドで開かれ、町民や帰省者などで賑わいました。

祭りは、岸本風神太鼓振興会、鬼面太鼓振興会の演奏で開幕。続いて八郷小学校5・6年生による銭太鼓の披露や、ちびっこ踊り、きしもと音頭、2,000発の打上花火など盛りだくさんの内容でした。

祭りのフィナーレは、毎年大人気の大抽選会。地元八郷米やペンション宿泊券など豪華賞品が当たりました。



きしもと音頭を踊る参加者

将来の夢は、W杯優勝

だいせん杯サッカー大会

第25回だいせん杯サッカー大会が、8月6・7日、総合スポーツ公園で開かれ、中四国から小学生16チーム約320人が参加しました。

だいせんカップは、伯耆町で開かれるものもとても大きなジュニアのサッカー大会で、15分ハーフ、8人制で行われます。

伯耆町からは、伯耆フットボールクラブが参加。当日は最高気温が35度を超える猛暑日でしたが、選手たちは元気いっぱい走りまわり、全力でプレーしました。結果は第4グループの4位でしたが、選手たちは日頃の練習の成果を発揮し、熱戦を繰り広げました。



全力でプレーする選手

日野川のめぐみを感じながら

きしもと鮎釣り大会

第18回きしもと鮎釣り大会が、7月31日、伯耆町役場裏の日野川で開催され、鳥取県内外から43人が参加しました。

この大会は、鮎釣りを通じて自然を感じ、日野川を大切にしようという思いで、日野川水系漁業協同組合岸本支部が毎年開催しています。

大会は、予選と決勝の2回、制限時間内に釣上げた鮎の数を競います。参加者は竿先に神経を集中させ、次々と鮎を釣り上げていました。なお、この大会で釣り上げられた鮎は、伯耆町社会福祉協議会に寄附され、町内の福祉施設で振舞われました。



鮎を釣り上げる参加者

新成人を祝う

伯耆町成人式



新成人たち

伯耆町成人式が、8月15日、鬼の館で開催され、新成人109人が出席しました。

式典では、新成人を代表して、権代恵梨香さんが、「これから世間の荒波に揉まれ、挫折しそうになるかも知れないが、自らの力で乗り切り、伯耆町のために貢献していきたい」と新成人の誓いを述べました。

式典終了後、電気自動車を生産するナノオプトニクス・エナジー米子EV工場の久保田仁工場長を招き、「ベンチャーから新成人の皆様へ」という演題で記念講演会が開催されました。

新成人は、旧友や恩師との再会を喜び、記念撮影や思い出話に花を咲かせていました。